名称	学校法人巨樹の会	八千代リハビリテーション学院	評価実施日	2023/6/1
A 11 (12)	1 KENTER SE	7 1 1 1 2 2 7 4 2 4 1 1 1 1 2	HI IM ACAR II	2020, 0, 1

【自己評価1-1】専任教員の配置状況

	専任教員数					
学部 ・学科等の 名称	常勤教員	基準数	う学士作法	非常勤教員	専任教員一人あ たりの在籍学生 数	備考
理学療法学科	人	人	0人	人	人	
昼間コース	13 人	人	0人	7 人	23.2 人	
	人	人	0 人	人	人	
	人	人	0人	人	人	
計	13 人	0 人	0 人	7 人	=	

【自己評価1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
0	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容		
0	全ての養成施設指導要領の教育内容 (講義) を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4	
	9割以上の養成施設指導要領の教育内容(講義)を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3	
	8割以上の養成施設指導要領の教育内容(講義)を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が 担当している。	2	
	上記以外である。	1	

【自己評価1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価內容	判定
0	専任教員 (理学療法士又は作業療法士) は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
	専任教員(理学療法士又は作業療法士)は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員(理学療法士又は作業療法士)は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価2-1】養成施設指導要領との連動状況

【自己評価2	-1】養成施	設指導要領との連動状況				
	分野(基				担当教員	
学部 ・学科等の 名称	が ・専門 基礎・専 門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当コマ数	氏名	職名 (専任・ 兼任)
			心理学	15	小野田 聡子	兼任
			統計学	15	松葉 潤治	兼任
	基			ļ		
	磁	科学的思考の基盤	情報処理	15	高坂 信太郎	兼任
	分	人間と生活 社会の理解	物理学	15	西尾 静恵	兼任
	野	[about 12 Page 2]	基礎教養	15	加藤 智彦	専任
			対人関係演習 I	15	石渡みどり・百代貴子	兼任・専任
			対人関係演習Ⅱ	15	宮野慎太郎	兼任
			解剖学 I	15	松永 智	兼任
			解剖学Ⅱ	15	北村 泰子	兼任
			生理学 I	15	田崎 祐紀	兼任
			生理学Ⅱ	15	田崎 祐紀	兼任
		人体の構造と機能及び心身の発達	運動学 I	30	仲村 匡平	兼任
			運動学Ⅱ	15	仲村 匡平	兼任
			運動学演習 I	15	齋藤 雄一	専任
			運動学演習Ⅱ	15	齋藤 雄一	専任
	専				鳥羽 翔太	兼任
	門		人間発達学	15		
	基		リハビリテーション基礎医学 I	15	吉田 修一	専任
	礎 分		リハビリテーション基礎医学Ⅱ	15	吉田 修一	専任
	野		医学概論	15	新垣 工	兼任
		rc1 1950 0 4 4 4 7 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1	病理学概論	15	福井 謙二	兼任
		疾病と障害の成り立ち及び回復過 程の促進	整形外科学	15	宮野 慎太郎	兼任
		III I PERE	内科学	15	吉田 修一	専任
			神経内科学	15	藤枝 寿光	専任
			臨床心理学	15	緒方 万里子	兼任
		旧暦に応信払しけいびける。 シノ	精神医学	15	篠原 由花	兼任
			リハビリテーションと理学療法I	15	新垣 工	兼任
		保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーションと理学療法Ⅱ	15	井上 祥教	兼任
理			基礎理学療法学I	15	川人 裕也	専任
学						
療 法		and a state of the same of the	基礎理学療法学Ⅱ	15	森 政人	兼任
学		基礎理学療法学	生活機能演習	15	古井 雅也	兼任
科			臨床運動学演習I	15	川人 裕也	専任
昼			臨床運動学演習Ⅱ	15	加藤 智彦	専任
間		理学療法管理学	理学療法管理学	15	新垣 工	兼任
\exists			基礎評価学演習 I	30	森 政人	兼任
			基礎評価学演習Ⅱ	30	松本 芳和	兼任
ス		理学療法評価学	基礎評価学演習Ⅲ	30	松本 芳和	兼任
		5-T- 1 /0/2 F2-N I INII 1	臨床評価学演習I	15	安山 一郎	兼任
			臨床評価学演習Ⅱ	15	安山 一郎	兼任
			運動療法学演習	30	井上 祥教	兼任
			物理療法学	15	鈴木 智裕	兼任
			日常生活活動学演習I	15	東健太郎	兼任
			日常生活活動学演習Ⅱ	15	東 健太郎	兼任
			義肢学	15	吉廣 伸隆	兼任
	専		装具学	15	吉廣 伸隆	兼任
	門分		中枢神経疾患の理学療法学 I	30	中崎 満	専任
	野		中枢神経疾患の理学療法学Ⅱ	30	中﨑 満	専任
		am at the control	運動器疾患の理学療法学 I	30	本宮 丈嗣	専任
		理学療法治療学	運動器疾患の理学療法学Ⅱ	30	本宮 丈嗣	専任
			内部障害系疾患の理学療法学I	30	岡住 信介	専任
			内部障害系疾患の理学療法学 II	30	岡住 信介	専任
			小児疾患の理学療法学	30	百代 貴子	兼任
			理学療法学技術演習I	30	鈴木 智裕	兼任
			理学療法学技術演習Ⅱ	30	古井 雅也	兼任
			理学療法学総合学習 I	30	東 健太郎	兼任
			理学療法学総合学習Ⅱ	30	新垣 工	兼任
			理学療法学総合学習Ⅲ	30	東 健太郎	兼任
		114 L4 vm 32 set 51-39.	生活環境学	15	鈴木 智裕	兼任
		地域理学療法学	地域理学療法学演習	15	齋藤 雄一	専任
			臨床実習I	23	本宮 丈嗣	専任
			臨床実習Ⅱ	23	本宮 丈嗣	専任
	1	臨床実習	叫小大日Ⅱ	2.0	から 入門	4年
			能士中羽 m	100	田 北 松 山	古バ
			臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ	180 225	川人 裕也	専任

【自己評価2-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
0	養成施設指導要領に基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導要領に基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導要領に基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価2-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価內容	
0	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または 、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価3-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
0	養成施設指導要領に従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
	養成施設指導要領に従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導要領に従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導要領に従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価3-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

•		
自己評価	評価内容	判定
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
0	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報:臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください

学部 ・学科等の 名称	臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
	デイサービスの見学	1年前期	対人関係演習 I	1年前期
	急性期・回復期病院見学	1年後期	リハビリテーションと理学療法 I	1年前期
	心压夠。回接夠將仍允予	一十夜州	リハビリテーションと理学療法Ⅱ	1年前期
	通所リハビリテーションの見学	2年後期	生活環境学	2年後期
理学療法学科			地域理学療法学演習	2年後期
生于原仏于行	評価実習	3年前期	基礎評価学演習 I	1年前期
			基礎評価学演習 Ⅱ	1年後期
			基礎評価学演習Ⅲ	2年前期
	総合臨床実習	3年後期	理学療法学技術演習 I	2年前期
	から ロ 四 か 天 日		理学療法学技術演習 Ⅱ	2年後期

【自己評価3-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価內容	判定
0	養成所指導要領で定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導要領で定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
	養成所指導要領で定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価3-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
0	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価3-5】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
0	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
0	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報:自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	八千代リハビリテーション学院 自己点検・評価委員会
委員名 (委員長)	片山薫(委員長)
組織の開催頻度	1年に一度
	・ 学生および教員間による授業評価の分析
	・ 各委員会の業務改善の報告と分析
組織の取り組み内容	・ 教育改善の研修会の開催企画
	・ 卒業時満足度調査の分析
	• 情報公開
自己点検・評価結果の公表	HPで公表 (URL: https://www.yachiyo-reha.jp)

【自己評価4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

1		
自己評価	評価內容	判定
0	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報:シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する仕組み	名称	教育課程編成委員会
	委員構成等	「団体等の役職員」と「企業等の役職員」と「学内の教育課程の編成の責任者又はそれに準ずる者」で構成
	改善の仕組みの実際	半期に一度開催し、構成委員と学内の委員で教育課程の編成 (授業内容・方法の改善・工夫等を含む) を行っている

【自己評価4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

学科会議・委員会・運営会議などで定期的に結果の確認と改善内容の報告を行う。